

(様式2(1))

事業所名 洲本中川原グループホームカール

目標達成計画

作成日: 令和3年1月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を各種記録し、必要な連絡事項を申し送りノートで共有する。月1回のモニタリングで支援方法を職員が共有できる様に努める。	既存の記録用紙を改善し、分かりやすく記入しやすいひな形を職員で話し合い作成する。モニタリングの情報共有ができていないかグループ会議で確認する。	12ヶ月
2	18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設と言う場所の関係をなるべく除外し、同じ空間で過ごしている関係を築き、お互いが助け合う生活環境に努める。	生活を通じて、「出来る事」を暮らしの場として行って頂く。本人の「願い」や「思い」を汲み取り、本人が望む生活に添える様に、職員との関係作りを図る。	12ヶ月
3	13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人が研修への参加を勧め、スキルアップを目指す。全ての職員のレベルアップで介護技術に差が無い様に努める。	介護研修での実践と日々の介護での振り返りを図り、介護される側の気持ちとなって考え、支援する様に努める。介護技術については、グループ会議で実践研修を実施する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。